

五島市図書館友の会だより

第4号(2016.3.31)

発行者 五島市図書館友の会



新図書館への思い

十数年前から市立図書館建設の計画があり、三度目の正直なるかと、四年前に三回目の計画がまとまったが、建設寸前に白紙撤回された。

その反対理由は「身の丈にあった図書館を」とのことである。

身の丈とは何であろう？建設予算額のことを指していた感じであったが、私は「しま」ゆえに確かな図書館が必要であると考える。

撤回は誠に残念であり、今でも早期建設を待望している。

私は23才から15・6年ほど図書の出版・販売の会社で働き、絵本・書籍・木のオモチャ・音楽・美術品等が身近にある環境づくりが、人格形成等、バランスの良い人づくりに大きな影響があることを学び、子育てでも実践してきたつもりである。

絵本の読み聞かせ、童謡、クラシック音楽、木のオモチャ、良書との出会いは人の成長に大きな影響を及ぼすと信じている。

家庭での読書から始まり、それが五島市の図書館づくりへと繋がることに大いなる期待を寄せている。

文化度のバロメーターともいえる多機能の図書館は、その自治体の「大きな顔」である。

美術品の展示、200人～300人位が入る集会室、コンサートやシアターも可能な総合拠点施設としての図書館がこれからの五島市には必要と思われる。それはまさしく生涯学習、三世代交流、市民の憩いの場所、交流人口の大拠点として必要なものであり、新図書館建設は後世への我々、大人としての責任でもあると考える。

現図書館は旧ホテルを買い取ったものであり、エレベーターもなく三階までの階段も急な上、バリアフリーでもなく、市民に不公平・不便さを与えている。建築年数もかなり経過しており維持管理費や補修費も嵩んでいる状況である。

新図書館は用地も確保されており、早期着工、完成を心から望むものである。

[リレーエッセイ3]

中村 康弘 (五島市市会議員・五島市図書館友の会会員)

最近の活動から

毎月、図書館休館日に館内の展示作業をしています。



「教会の世界遺産」をめざして、毎月、片山さんを先頭に
関連資料の展示替えをしています。

平成28・2月は「ミルキーの会」
(山内小学校・図書ボランティア)
のおはなし会・小道具の展示



平成28・3月は「インスタレーション」(現代美術の一つ)。さゆり会・やまゆり荘・サポートセンターきらり共同製作

講座「内海文庫の世界」開催

平成27年7月22日、内海紀雄氏の講座を開催しました。約60名の方が参加されました。

内海さんは、図書館建設計画に伴い、「五島」に関する貴重な資料を寄贈してくださいました。この度、その「内海文庫」にたいする真摯な思いを語っていただきました。



「内海さんは久賀島のご出身で、朝日新聞社の元代表取締役専務、現在は宝塚大学特任教授や、神戸にある香雪美術館長・五島文化協会の顧問も務められています。これまでに収集された五島や長崎に関する資料を数年前に五島市立図書館へご寄贈いただき、その資料を「内海文庫」として3階に特設しました。現在1,700冊ほどの資料があります。これらの資料の一部について、五島がどのように紹介されているのか、またそれらの資料をどのように集めてこられたのか、興味深いお話を頂きました。」(図書館フェイスブックより)

「内海文庫」は図書館三階です。
一般書と同じように貸し出しも
できます。
気軽にお立ち寄り下さい。



図書館・二階階段の踊り場に
「ふるさとの話題」のコーナー
があります。

ひと月遅れの「長崎新聞」から五島に
関する記事を展示しています。
この作業は図書館友の会会員の
鳥山さんが、毎回、切り抜き、
拡大コピーをしてくれています。
(長崎新聞社には著作権、了解済み)



第2回 古本まつり

時：平成28年4月24日（日）午前10時～午後3時
所：図書館玄関前

4/6/・4/13・4/20に準備作業をします。

お手伝いが可能な方、ぜひ、ご協力を！

家で眠っている本をゆずってください

- ・絵本・コミック・小説など大歓迎
- ・平成28年4月20日までに図書館一階階段下までお運びください

展示作業他のお知らせ

- ・毎月図書館休館
・午前10時～11時
4月30日（土）
5月31日（火）
6月30日（木）



■ 編集後記

先日の役員会で「友の会
だより」は「字は少なく、
写真を多く」と意見がで
ました。そして「頻繁に」。
新年度は何とか頑張り
たいと思います。

K・S